

「地球のステージ ありがとうの物語」上映会参加者アンケート

～2009 年 9 月 22 日盛岡会場 9 月 27 日花巻会場～

(お断り:事務局で文意の変わらない範囲でまとめさせていただきました。)

- ・ 世界には世界中の人が生活していくのに必要な食糧が十分にあるのに、正しい分ち合いがなされていないのだとしみじみ感じました。貧しい子どもたちの目がキラキラ輝いていたのが印象的でした。人を応援すること、応援されることの大切さを多くの人に知ってほしいと思いました。ありがとうございました。(男性 43才)
- ・ 感動をいっぱいもらいました。この映画に出てくる子どもたちが、とてもとおしく思え、涙が止まりませんでした。先進国の私たち、何かしなければなりませんね。実行委員の方々、ご苦労様でした。
- ・ われわれのおかれている環境のすばらしさについて、改めて感じさせられました。
- ・ 子どもたちの瞳が澄んでいて、力強く輝いていたのが印象的でした。
- ・ 戦争は子どもたちにはぜんぜん関係ないのに一番被害にあっている気がした。桑山紀彦さんみたいな人が沢山増えればいいと思うし、その国の人達みんなが協力すればもっとよくなると思いました。(中学生 14才)
- ・ いろんな現状があることがわかった。悲惨な雰囲気ではなく、前向きに生きているところがよかった。いろんなところで子どもたちに見てほしい映画だと思いました。
- ・ 世界の子どものたちの厳しい現状を見て心が痛みます。これからもよい映画を作って日本全国に広めてくれるとうれしいです。(男性 37才)
- ・ 桑山医師の姿勢、実行力に感動しました。いつも犠牲になるのは子どもたちだと心が痛くなりました。子どもたちが幸せになる世界になるように祈ります。
- ・ 明るい子どもたちの笑顔に感動、世界の多くの子どもたちが幸せにならなければならないのでみんなで命の大切さを考えたい。(男性 70才)
- ・ 子どもたちが育っていく環境がとても大事だと思う。心の成長がとても大事だと思います。
- ・ 自分の事だけを考えて生活しているような自分です。できるだけたくさんの人々とつながるように意識して生活をしていきたいと思います。ユニセフにはいつも募金していますが、これからはもっと思いをこめて募金などをしていきます。
- ・ すべてにおいて、戒められました。ありがとうございました。
- ・ すごく感動しました。子どもたちの笑顔に励まされました。桑山さんの澄んだ歌声で気持ちをはればれとやさしい気持ちになれました。今日は本当にありがとうございました。(女性 58才)
- ・ とても感動しました。山形にこんなすばらしい先生がいらっしやることを初めて知りました。もっとたくさんの人たち(特に10代～20代)に見てもらいたいと思いました。
- ・ 家族でインドネシアに住んでいた時、向こうの方と一緒に歌った「心の友」を懐かしく聞きました。戦争のない平和な世の中になってほしいです。
- ・ 以前、桑山さんのお話を聞き是非みたいと思ってきましたが、子どもが怖がって最後まで見れず残念。私の娘は怖いといって逃げるのですが、画面の中の子どもたちは逃げる事ができない。
- ・ こわくてとちゅうでぬけたけど、これからはユニセフのぼきん活動をもっとがんばってやりたいと思いました。(8才)

- ・ 私も今できることから始めて行きたいと思います。これからは何か出来るボランティアに参加して行こうと思います。この映画をみて「ありがとうの物語」新しい意識が芽生えました。（女性 40才）
- ・ 映画を観て衝撃を受けるのか・・・と思っていましたが、淡々とした映像で感情が揺れるという思いが湧きませんでした。現実と戦う子どもたち、「あー自分はこんなに心が動かなくなってるんだなあ」とがっかりしました。但し、監督のお話は「何か」訴えるものがあり、自分にも何か出来るかも・・・と少し希望を持てました。（男性 48才）
- ・ 「地球のステージ」は、先月日本PTAみやぎ大会で知りました。今回の上映は岩手日報で知りました。普段テレビなどで観たような時は、その時のみの思いで終わってしまうことが多かったのですが、今日は自分に何ができるのかを感じることができました。募金はもちろんですが世界の現実と「地球のステージ」の活動を口コミでもいいので伝えていきたいと思いました。（男性 50才）
- ・ すばらしい活動なさっている方がいることがわかりました。自分もなにか力になりたいと思いますが、医者でもないし、音楽もできないし、なにか自分の生活の中で・・・と考えるのですが。身につまされるものがない。茫然とした気持ちになりました。（男性 46才）
- ・ フィリピン・ガザ地区など旅をして関わり合った日々を思い出しています。特に子どもたちの目に引かれたことを思い出しております。（女性 57 才）
- ・ 4回目ですが、また新たな感動です。知り合いに広めたいと思いつつ1人にしか知らせなかったです。あと、3人には知らせればよかったと反省中。
- ・ 世界中にこんなに大変なことがあったことはうっすらとは知っていました。しかし、現実はとても思っていた以上にひどいものですね。あまりにも私たち、日本人は幸せな日々を送っている。知らないことが多すぎます。
- ・ 世界中の子どもたちに目をむけてすこしでも役にたちたいと思いました。
- ・ 豊かさとは他人を思いやる心、武器による平和はありえない。それがわかっているのに戦後64年、平和憲法に守られ平和ボケと言われ、それでもボケと言われていられるのは幸せ。音楽は心をいやす。
- ・ 前回の「地球のステージ」に続き、「ありがとうの物語」を見せていただきありがとう…。つらい目にあいながらも元気に生きている子どもたちに、こちらの方が元気をもらいました。
- ・ 戦争はあってはならない。今日の映画を観ることができたこと、本当に“ありがとう、ありがとう”です。私も一点突破！“ありがとう”の輪が広がっていきますように。
- ・ 今日の映画で、世界の子どもの現状を知ることができました。厳しい現状の中でも命を輝かせて一生懸命生きようとしている子どもたちの姿に心を打たれました。自分にできることは何かを考え、桑山さんのように実際に人のためになるようなことをしていきたいと思わせていただきました。